



*このイベントは、コープみらいフェスタ、医療生協さいたま健康フェア、埼玉物産観光フェアとの合同開催です

世界の WAO!

~今まで当たり前だと思っていたことが、海外に行くとビックリ!なんてこともよくあります。世界各国の文化や習慣の違いを楽しみましょう!~

今回のテーマは...
「お守り・厄除け」



中国・上海

天然石を使った数珠のようなブレスレットやペンダントがよくお寺で売られていて、身に付けている人が多いです。観音様が描かれた金メッキの名刺サイズのカードもあり、お財布に入れたりもします。また、私の祖母は服の腰ひもに玉（観音様を彫った10センチくらい大きさのもの）を付け、「転ばないように」と亡くなるまで身に付けていました。

(K)



フランス

昔は十字架や聖母のメダルを着ける人が多くいましたが、教会に行く人が少なくなるにつれて、この習慣も薄れてきています。また、なぜか、古い鍵も幸運を運んでくれると言われていました。自分の家の鍵以外を持ち歩く人はいないと思います。(笑)

(M・R)



中国・ウイグル

ムスリムの人達は、病気を患うと、コーランの病気の治す言葉の部分を紙に書き写し、袋に入れ、身に付けたり、家に置いておいたりし、病氣平癒を願います。また、昔から太陽の神様が大切にされていて、結婚する際には玄関で火を燃やして、その火を新郎新婦がジャンプしてまたぎ、家に入ります。

(A・H)



ペルー

赤ちゃんが生まれるとすぐに手首に赤いブレスレットを付けます。ミサンガのように糸で編み、赤い石を付けることもあります。これを生後1か月までつけることで、赤ちゃんを魔物から守ります。ヘンルーダとアロエの葉を玄関に吊るし、魔よけとします。アロエの葉から赤い汁が出ると、家の中にいた魔物を外に追い出せたことがわかります。また、ヘンルーダの葉は旅行に行くときにはカバンに入れます。

(M)



ミャンマー

生まれた赤ちゃんには祖母から健康を祈り、ブレスレット、アムレットやネックレスが贈られます。純金製など金属でできたものです。24時間身に着けるので、ある程度の太さがあり、しっかりしたものです。ミャンマーは仏教の国なので、五戒の戒律を守ります。生まれた曜日を大切にし、その曜日に精進料理を食べたり、お寺に行き修行をしたりします。

(F・M)



2018年度秋 JICAボランティア募集中!

独立行政法人国際協力機構 (JICA) では、「**青年海外協力隊**」「**シニア海外ボランティア**」を募集しています。(web募集:10月1日(月)~11月1日(木) 正午)

JICA ホームページ

<http://www.jica.go.jp/volunteer/>

検索

◆青年海外協力隊: 20 ~ 39 歳

◆シニア海外ボランティア: 40 ~ 69 歳

埼玉では下記ボランティア説明会を開催しています。

10/21 (日) 9:30~11:30 浦和コミュニティセンター 第8集会室

詳細は直接下記担当者までご連絡ください

【資料請求・お問い合わせ先】 JICA埼玉デスク 土屋 (埼玉県国際交流協会内) TEL:048-833-2992/090-4024-0253)

(Mail: jicadpd-desk-saitamaken@jica.go.jp)